

在宅生活改善調査

調査の概要

自宅等にお住まいの高齢者の方で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、施設サービスなどの地域に不足する介護サービス等を検討する目的で実施しました。

調査対象	居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護	106 か所
調査方法	令和5年1月11日（水）～令和5年2月17日（金） メール、FAX、郵送、持込	

調査票の配布と回答状況

種 類	配布数/依頼箇所	有効回答者数	有効回収率
在宅生活改善調査	106 か所	89 か所	84.0%

調査結果の見方

- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値（number of cases）は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- ◇集計結果のグラフにおいて、回答が0件の選択肢（0.0%）については、数値の表記を省略していません。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単一回答の設問における複数回答など）の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- ◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いています。
本調査の回答状況は以下のとおりです。

事業所票

(1) ケアマネジャー、および利用者の人数について

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

n=89 単位：人

	合計	平均
1) 所属するケアマネジャーの人数	242	2.72
2) 「自宅等(3)を除く」にお住まいの利用者数	5,832	65.53
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	515	5.79

平均人数は「1) 所属するケアマネジャーの人数」が2.72人、「2) 「自宅等(3)を除く」にお住まいの利用者数」が65.53人、「3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数」が5.79人となっています。

(2) 居場所を変更した利用者数について

問2 貴事業所において、過去1年の間(令和4年1月1日～令和4年12月31日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

n=89 単位：人

	人数	平均
要支援1	7	0.08
要支援2	3	0.03
要介護1	178	2.00
要介護2	137	1.54
要介護3	131	1.47
要介護4	144	1.62
要介護5	61	0.69
合計	661	7.43

自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数について、89事業所の合計を要介護度別でみると、「要介護1」が178人と最も高く、次いで「要介護4」が144人となっています。

(3)居場所を変更した利用者の行先について

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和4年1月1日～令和4年12月31日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数」を行き先別にご記入ください。

n=89 単位：人

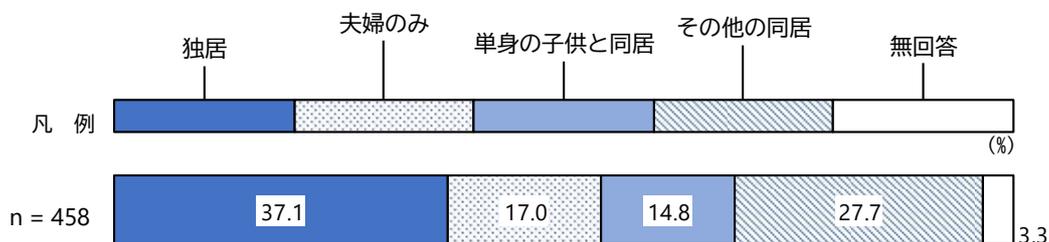
	市内	市外
1)兄弟・子ども・親戚等の家	22	15
2)住宅型有料老人ホーム	39	5
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	6	0
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	46	6
5)グループホーム	71	3
6)特定施設	69	2
7)地域密着型特定施設	19	0
8)介護老人保健施設	138	6
9)療養型・介護医療院	52	0
10)特別養護老人ホーム	115	8
11)地域密着型特別養護老人ホーム	9	0
12)その他	17	5
13)行先を把握していない		8
1)～13)合計		661
14)死亡（※搬送先での死亡を含む）	355	20

市内の「介護老人保健施設」が138人と最も高く、次いで市内の「特別養護老人ホーム」が115人、市内の「グループホーム」が71人となっています。

利用者票

(1)世帯類型

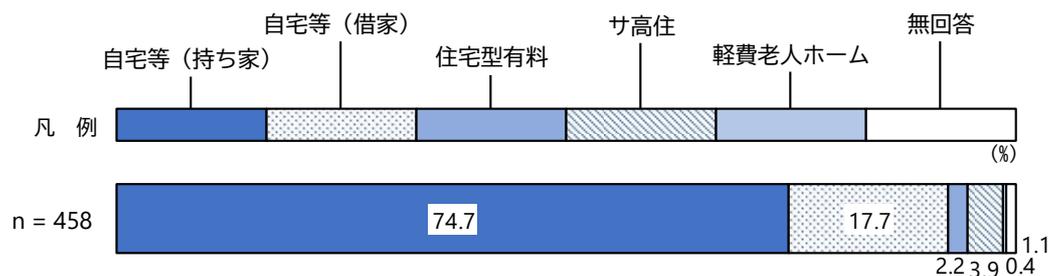
問1-1 世帯類型（番号1つ選択記入）



世帯類型について、「その他の同居」を除くと、「独居」が37.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」（17.0%）、「単身の子供と同居」（14.8%）となっています。

(2)現在の居所

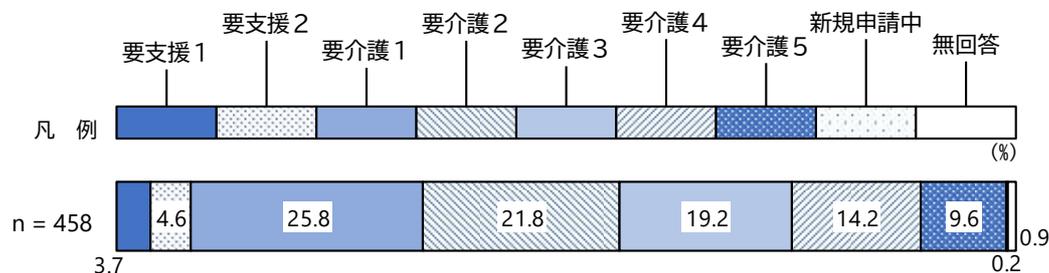
問1-2 現在の居所（番号1つ選択記入）



現在の居所について、「自宅等（持ち家）」が74.7%と最も高く、次いで「自宅等（借家）」（17.7%）、「サ高住」（3.9%）となっています。

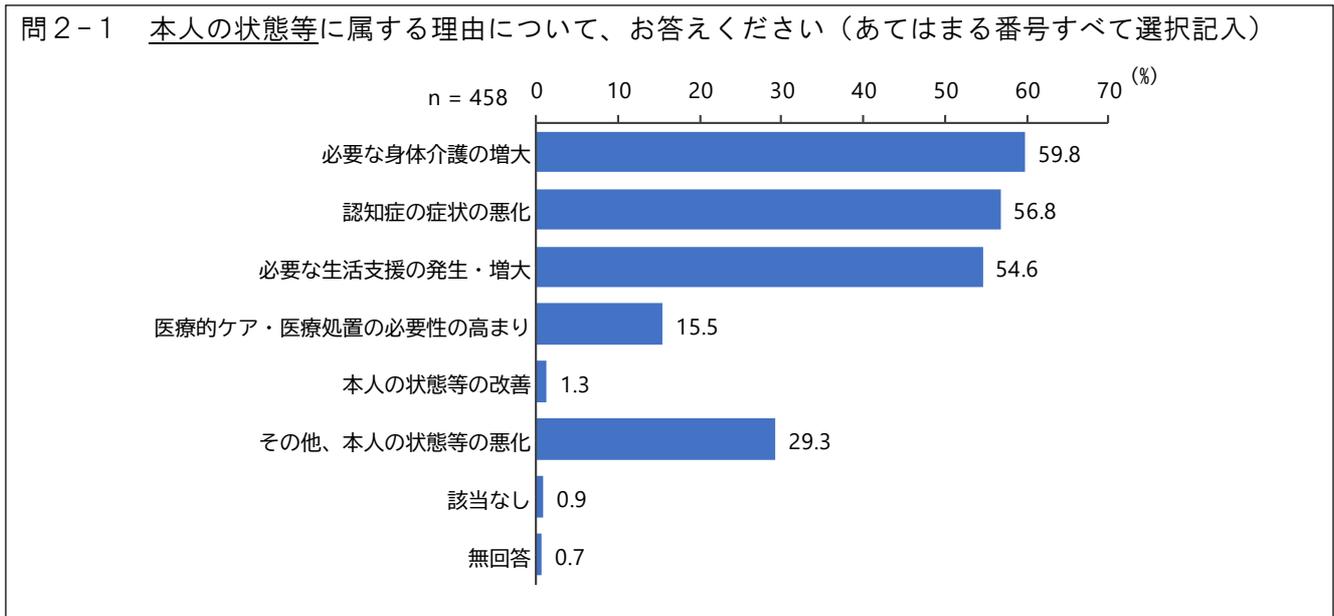
(3)要支援・要介護度

問1-3 要支援・要介護度（番号1つ選択記入）



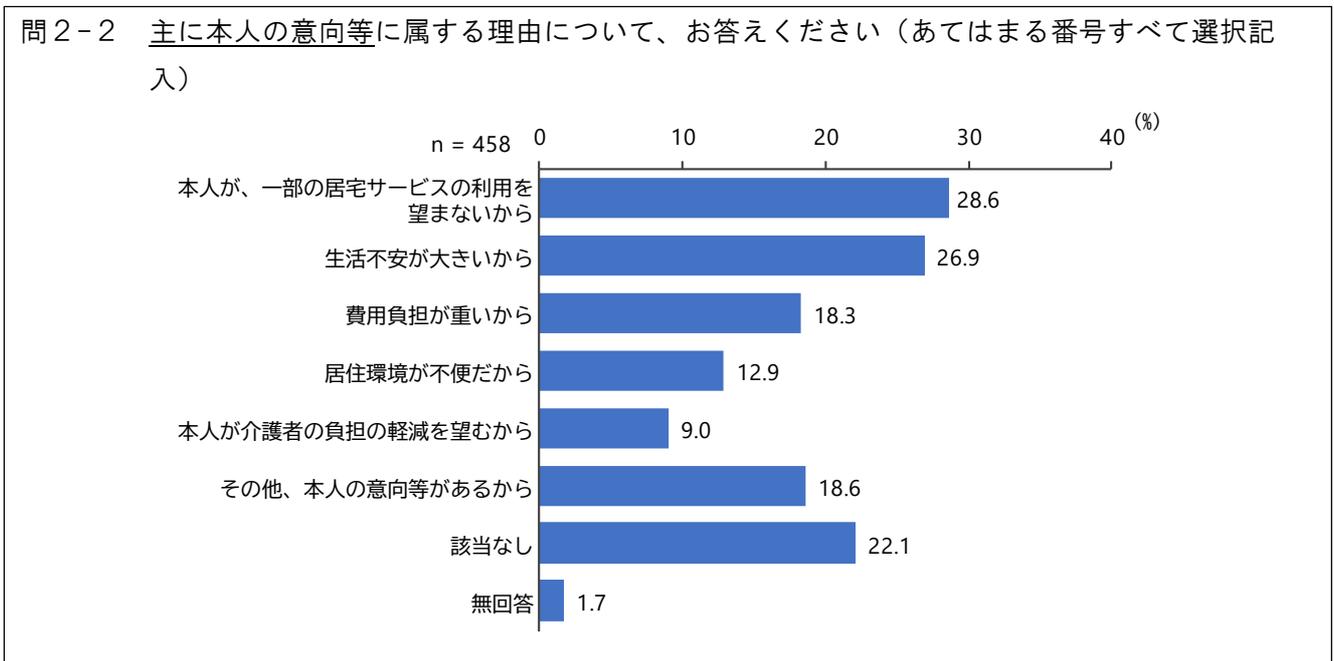
要支援・要介護度について、「要介護1」が25.8%と最も高く、次いで「要介護2」（21.8%）、「要介護3」（19.2%）となっています。

(4)本人の状態



生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態等）について、「必要な身体介護の増大」が59.8%と最も高く、次いで「認知症の症状の悪化」（56.8%）、「必要な生活支援の発生・増大」（54.6%）となっています。

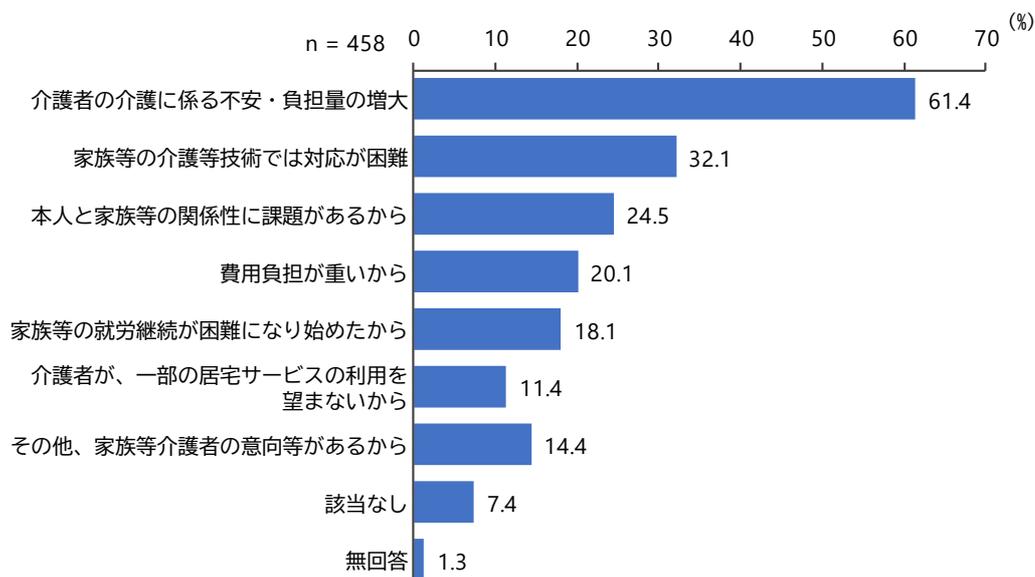
(5)本人の意向



生活の維持が難しくなっている理由（主に本人の意向等）について、「該当なし」を除くと、「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が28.6%と最も高く、次いで「生活不安が大きいから」（26.9%）、「費用負担が重いから」（18.3%）となっています。

(6) 家族等介護者の意向・負担等

問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

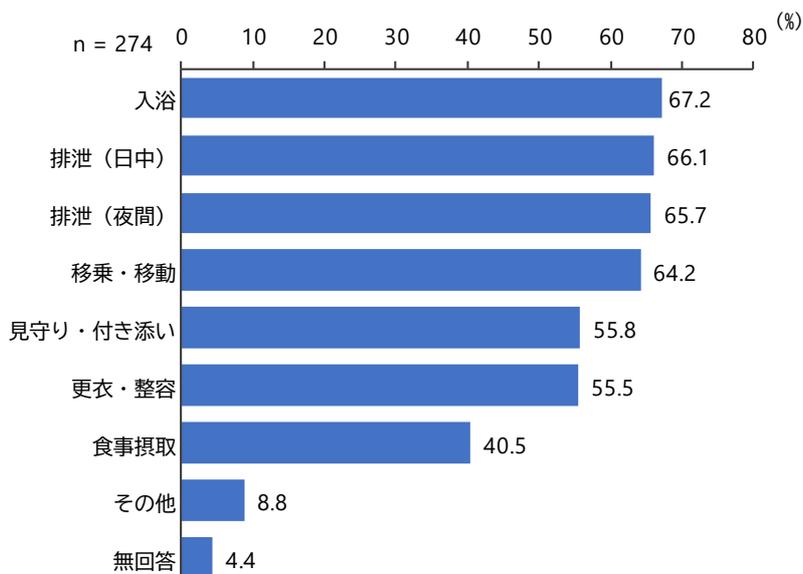


生活の維持が難しくなっている理由（主に家族等介護者の意向・負担等）について、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が61.4%と最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」（32.1%）、「本人と家族等の関係性に課題があるから」（24.5%）となっています。

(7) 具体的な身体介護

問2-4 【問2-1で【「3. 必要な身体介護の増大」を選択の場合】

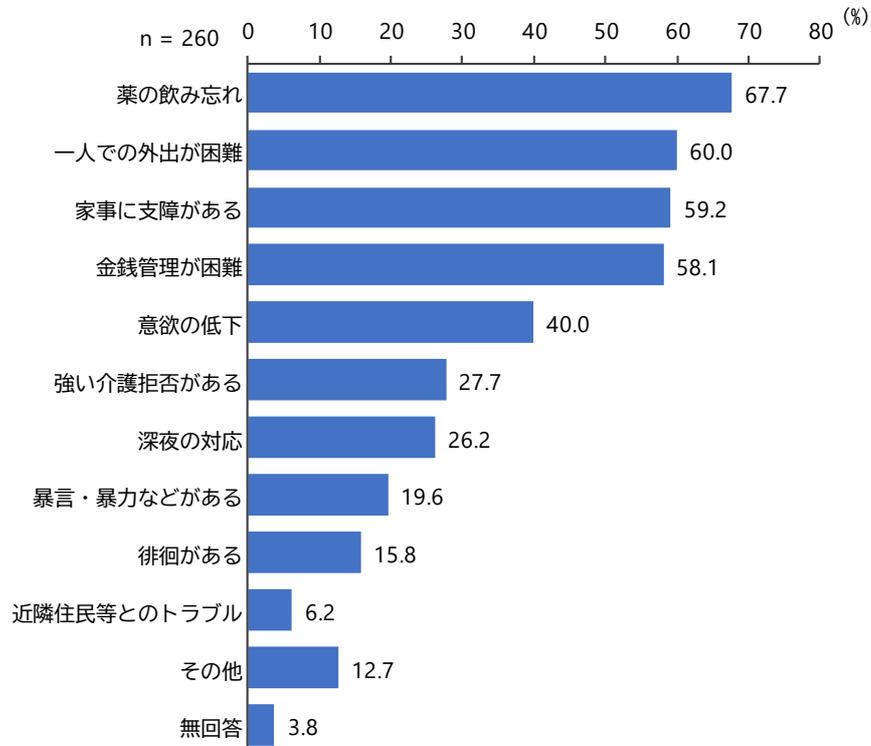
理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）



必要な身体介護について、「入浴」が67.2%と最も高く、次いで「排泄（日中）」（66.1%）、「排泄（夜間）」（65.7%）となっています。

(8) 認知症の症状

問2-5 【問2-1で【「4. 認知症の症状の悪化」を選択の場合】
理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください
(あてはまる番号すべて選択記入)



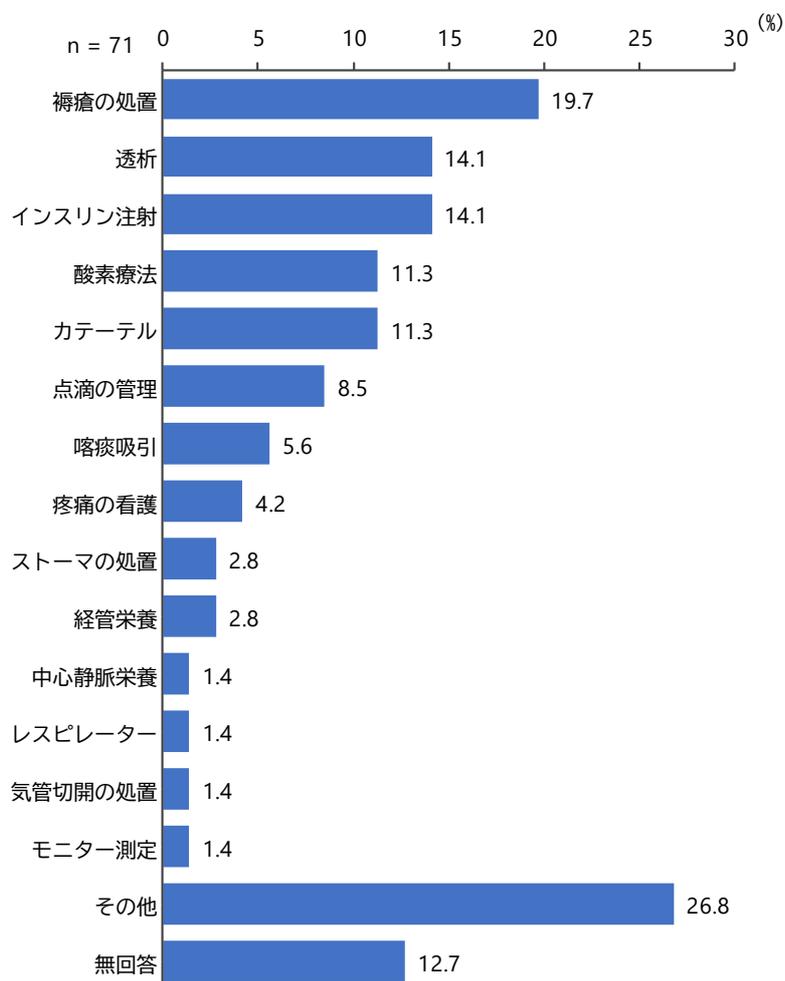
悪化した認知症の症状について、「薬の飲み忘れ」が67.7%と最も高く、次いで「一人での外出が困難」(60.0%)、「家事に支障がある」(59.2%)となっています。

(9)必要な医療的ケア

問2-6 【問2-1で【「5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択の場合】

理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください

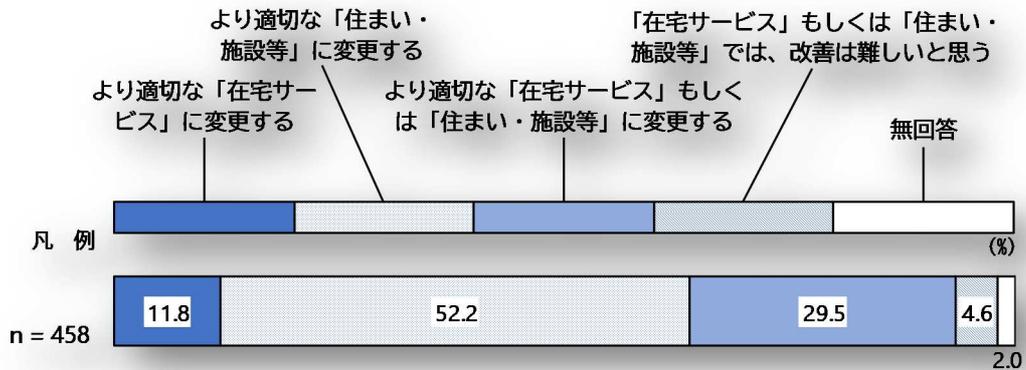
(あてはまる番号すべて選択記入)



必要性が高まった医療的ケア・医療処置について、「褥瘡の処置」が19.7%と最も高く、次いで「透析」、「インスリン注射」(14.1%)、「酸素療法」、「カテーテル」(11.3%)となっています。

(10) 変更することで改善できると思うサービス

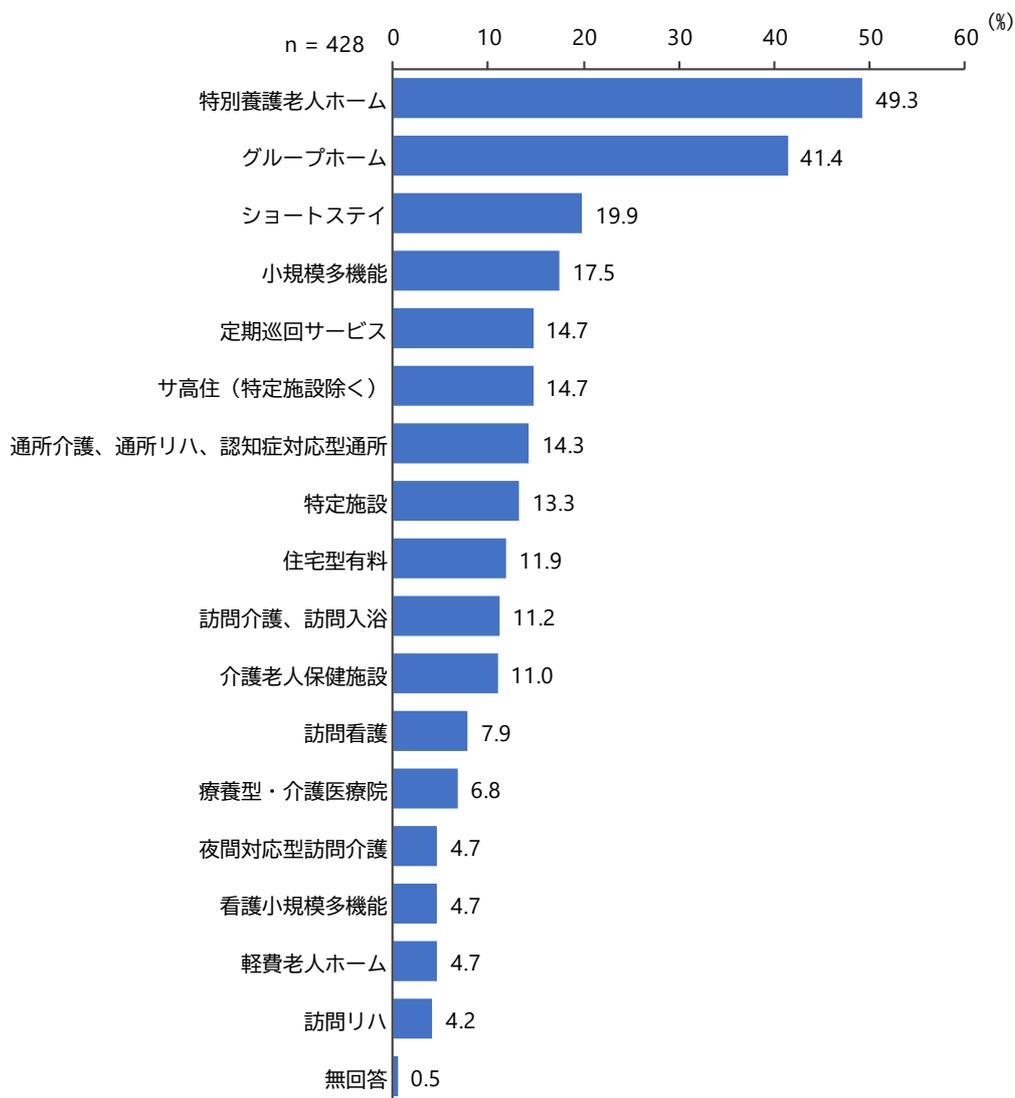
問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。（番号1つ選択記入）



現在の状況に対して、変更することで改善できると思うサービスについて、「より適切な「住まい・施設等」に変更する」が52.2%と最も高く、次いで「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」(29.5%)、「より適切な「在宅サービス」に変更する」(11.8%)となっています。

(11)本来であればより適切と思うサービス

問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

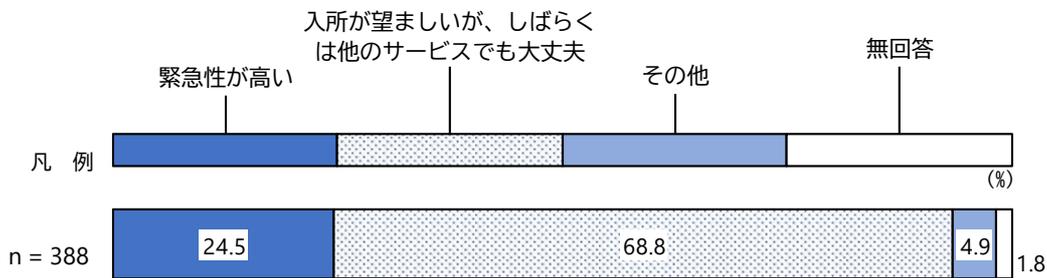


本来であればより適切と思われる、具体的なサービスについて、「特別養護老人ホーム」が49.3%と最も高く、次いで「グループホーム」(41.4%)、「ショートステイ」(19.9%)となっています。

(12)入所の緊急度

問3-3 【問3-2で「<住まい・施設等>」を選択の場合】

利用者の入所・入居の緊急度をお答えください（番号1つ選択記入）

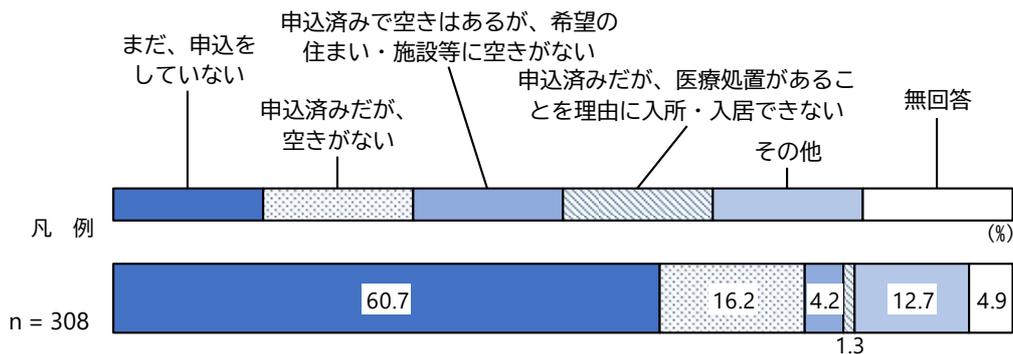


利用者の入所・入居の緊急度について、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が68.8%、「緊急性が高い」が24.5%となっています。

(13)入居できない理由

問3-4 【問3-2で「<住まい・施設等>（※特養以外）」を選択の場合】

入所・入居できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）



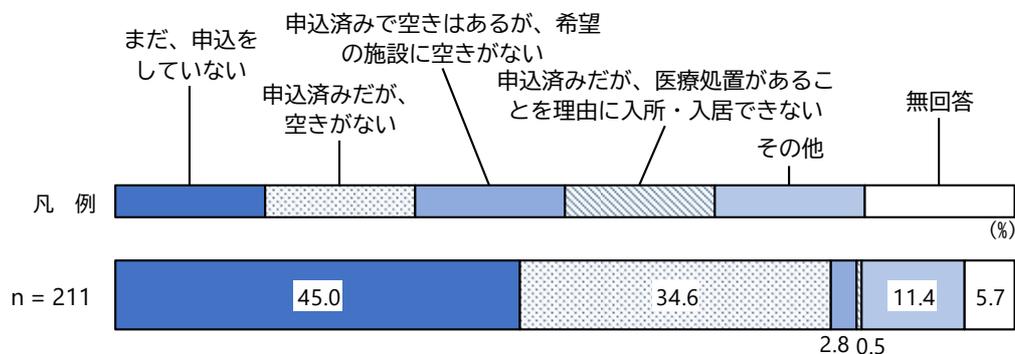
入所・入居できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が60.7%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」（16.2%）、「申込済みだが、希望の住まい・施設等に空きがない」（4.2%）となっています。

また、「その他」が12.7%となっています。

(14)特養に入所できない理由

問3-5 【問3-2で「特別養護老人ホーム」（※特養）を選択の場合】

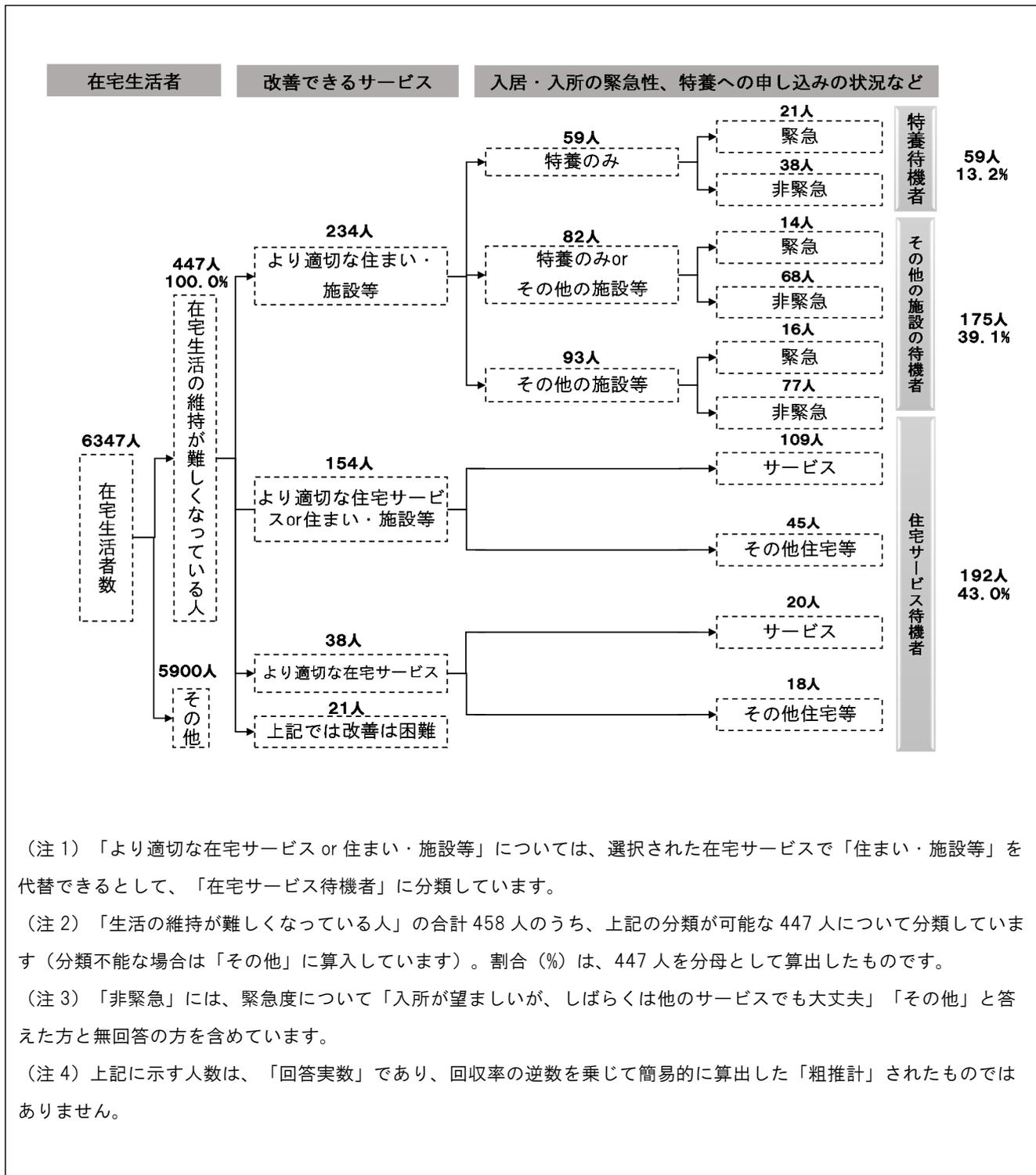
特養に入所できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）



特養に入所できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が45.0%と最も高く、次いで「申込みだが、空きがない」(34.6%)、「申込みだが、希望の施設に空きがない」(2.8%)となっています。

また、「その他」が11.4%となっています。

(15)「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



(注1) 「より適切な在宅サービス or 住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2) 「生活の維持が難しくなっている人」の合計 458 人のうち、上記の分類が可能な 447 人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（%）は、447 人を分母として算出したものです。

(注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

(注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

(16)その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス

生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(175人)		在宅サービス待機者(192人)	
住まい・施設等	住宅型有料	30人 17.1%	住宅型有料	21人 10.9%
	サ高住	34人 19.4%	サ高住	29人 15.1%
	軽費老人ホーム	9人 5.1%	軽費老人ホーム	11人 5.7%
	グループホーム	100人 57.1%	グループホーム	77人 40.1%
	特定施設	34人 19.4%	特定施設	23人 12.0%
	介護老人保健施設	28人 16.0%	介護老人保健施設	19人 9.9%
	療法型・介護医療院	19人 10.9%	療法型・介護医療院	10人 5.2%
	特別養護老人ホーム	82人 46.9%	特別養護老人ホーム	70人 36.5%
在宅サービス			ショートステイ	85人 44.3%
			訪問介護、訪問入浴	48人 25.0%
			夜間対応型訪問介護	20人 10.4%
			訪問看護	34人 17.7%
			訪問リハ	18人 9.4%
			通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	61人 31.8%
			定期巡回サービス	63人 32.8%
			小規模多機能	75人 39.1%
			看護小規模多機能	20人 10.4%

生活の改善に向けて、代替が必要

(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者 175 人、在宅サービス待機者 192 人を分母として算出したものです。

(注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能としています。

資料（調査票）

(在宅生活改善調査)

在宅生活改善調査 事業所票

事業所名	
------	--

※令和5年1月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	人
2) 「自宅等（3）を除く）」にお住まいの利用者数	人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	人

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和4年1月1日～令和4年12月31日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人	人	人	人	人	人	人	0人★

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和4年1月1日～令和4年12月31日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数」を先別に記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ 1)～13)の合計と、問2の合計人数（★欄）が一致することをご確認ください。

	市内	市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	人	人
2) 住宅型有料老人ホーム	人	人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	人	人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	人	人
5) グループホーム	人	人
6) 特定施設	人	人
7) 地域密着型特定施設	人	人
8) 介護老人保健施設	人	人
9) 療養型・介護医療院	人	人
10) 特別養護老人ホーム	人	人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
12) その他（ ）	人	人
13) 行先を把握していない	人	人
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	人	人

事業所名 ()
在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」、「介護住」、「在宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。
例えば「短期間身体介護が必要となったため、現在の加齢サービスの利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用により適切と思われる利用者」、「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が増えつつあるため、グループホームへの入居がより適切と思われる方」が対象です。

3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービスの利用の変更等について、お伺いします。

問1-1 世帯類型	問1-2 現在の居所	問1-3 要支援・要介護	問2-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください	問2-2 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください	問2-3 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください	問2-4 【問2-1で「13」を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」「身体的な」「身体的な」理由をお答えください	問2-5 【問2-1で「14」を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」「身体的な」「身体的な」理由をお答えください	問3-1 【問3-1で「15」を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」「身体的な」「身体的な」理由をお答えください	問3-2 【問3-1で「16」を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」「身体的な」「身体的な」理由をお答えください	問3-3 【問3-2で「17」を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」「身体的な」「身体的な」理由をお答えください	問3-4 【問3-2で「18」を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」「身体的な」「身体的な」理由をお答えください	問3-5 【問3-2で「19」を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」「身体的な」「身体的な」理由をお答えください
番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入
1. 同居	1. 自宅等	1. 要支援1	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 該当なし	1. より適切なサービス(在宅サービス)に切り替える(例:小多機能等)	1. 緊急性が強い	1. 緊急性が強い	1. 緊急性が強い	1. 緊急性が強い
2. 夫婦のみ	2. 同居等(同居)	2. 要支援2	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 「住まい・施設等」に要する(例:介護住への入居、特養への入居等)	2. 入居が望ましい	2. 入居が望ましい	2. 入居が望ましい	2. 入居が望ましい
3. 単身の同居	3. 要介護1	3. 要介護2	3. 介護者の介護負担の増大	3. 介護者の介護負担の増大	3. 介護者の介護負担の増大	3. 介護者の介護負担の増大	3. 介護者の介護負担の増大	3. 「住まい・施設等」に要する(例:介護住への入居、特養への入居等)	3. 介護が望ましい	3. 介護が望ましい	3. 介護が望ましい	3. 介護が望ましい
4. その他	4. サ高住	4. 要介護3	4. 認知症の悪化	4. 認知症の悪化	4. 認知症の悪化	4. 認知症の悪化	4. 認知症の悪化	4. 「住まい・施設等」に要する(例:介護住への入居、特養への入居等)	4. 介護が望ましい	4. 介護が望ましい	4. 介護が望ましい	4. 介護が望ましい
5. 軽費老人ホーム	5. 要介護4	5. 要介護5	5. 費用負担が重いから	5. 費用負担が重いから	5. 費用負担が重いから	5. 費用負担が重いから	5. 費用負担が重いから	5. 「住まい・施設等」に要する(例:介護住への入居、特養への入居等)	5. 介護が望ましい	5. 介護が望ましい	5. 介護が望ましい	5. 介護が望ましい
記入順	2	1	5	3	2	7	5, 6	3	2	2	2	2
01												
02												
03												
04												
05												
06												
07												
08												
09												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

1事業所あたり最大20名分記入してください。
対象となる利用者が20名を超える場合は、任意の20名分を回答ください。
対象となる利用者が20名以下の場合は、対象利用者全員分を記載ください。

